

# 【広島市消費者物価指数】

## 1 平成24年11月の動向

- 広島市総合指数（98.9）は前月比で下落。前年同月比は6か月連続の下落。
- 生鮮食品を除く総合指数（99.3）は前月比で下落。前年同月比は7か月連続の下落。
- 食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数（98.0）は前月比で7か月連続の下落。前年同月比は15か月連続の下落。

## 2 総合指数、生鮮食品を除く総合指数、食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数

	指数	前月比 (%)	前年同月比 (%)
総合指数	98.9	▲0.5	▲0.8
生鮮食品を除く総合指数	99.3	▲0.4	▲0.5
食料（酒類を除く）及びエネルギーを除く総合指数	98.0	▲0.4	▲0.9

## 3 前月からの動き

～被服及び履物、諸雑費は上昇、教養娯楽、交通・通信は下落。～

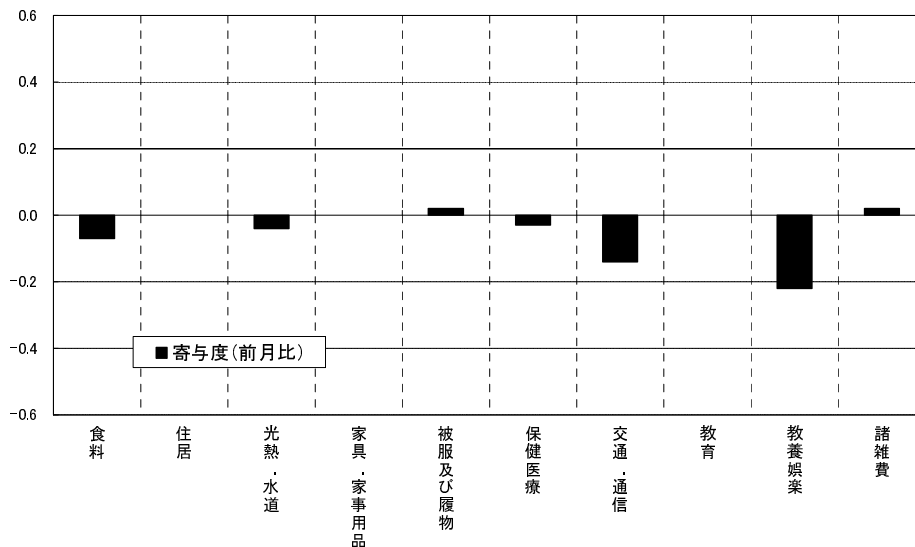
### (1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
指数	98.9	98.5	99.1	105.8	92.6	102.8	98.4	100.3	98.4	92.1	103.2
前月比 (%)	▲0.5	▲0.3	0.0	▲0.5	0.1	0.4	▲0.6	▲1.0	0.0	▲2.0	0.4
寄与度	▲0.5	▲0.07	0.00	▲0.04	0.00	0.02	▲0.03	▲0.14	0.00	▲0.22	0.02

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

- 被服及び履物：洋服（前月比 2.9%、寄与度 0.06）等
- 諸雑費：理美容用品（前月比 1.4%、寄与度 0.02）等
- 教養娯楽：教養娯楽サービス（前月比 ▲2.3%、寄与度 ▲0.14）等
- 交通・通信：自動車等関係費（前月比 ▲1.0%、寄与度 ▲0.07）等

図1 10大費目別前月比寄与度



(注) 寄与度：物価全体（総合）の上昇（下落）に、各費目がどれだけ影響したかを示したもの。本来、寄与度の合計は、総合指数の前（年同）月に対する変化率となるが、四捨五入の関係で一致しない場合がある。

(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
項 目 (主な品目名)	前月比	項 目 (主な品目名)	前月比
洋服 (婦人コート 等)	2.9%	教養娯楽サービス (外国パック旅行 等)	▲2.3%
家庭用耐久財 (ガステーブル 等)	1.7%	自動車等関係費 (ガソリン 等)	▲1.0%
理美容用品 (ヘアカラー 等)	1.4%	通信 (携帯電話機 等)	▲1.5%
菓子類 (ポテトチップス 等)	0.7%	野菜・海藻 (だいこん 等)	▲2.1%
ガス代 (プロパンガス代 等)	0.5%	教養娯楽用耐久財 (テレビ 等)	▲2.7%

4 前年同月からの動き

～光熱・水道は上昇，食料は下落。～

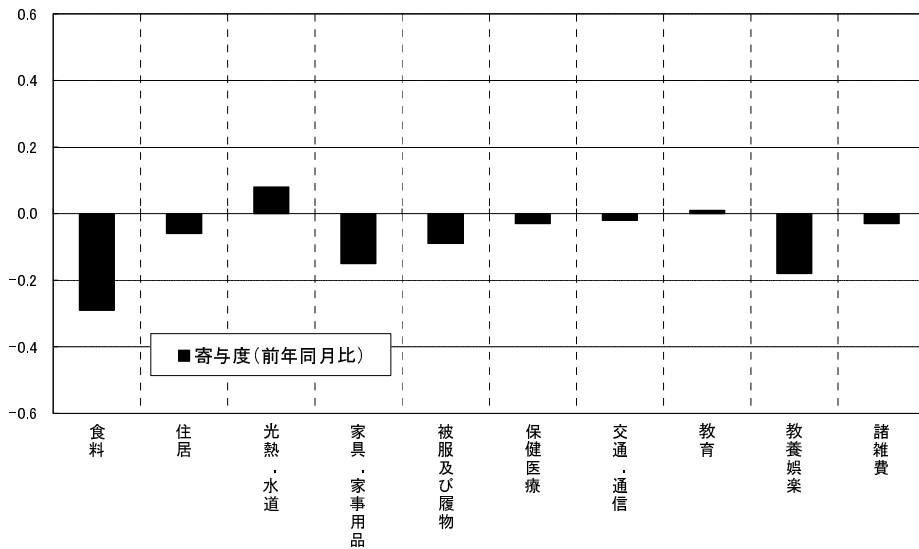
(1) 10大費目の動き

	総合	食料	住居	光熱・水道	家具・家事用品	被服及び履物	保健医療	交通・通信	教育	教養娯楽	諸雑費
前年同月比 (%)	▲ 0.8	▲ 1.1	▲ 0.3	1.0	▲ 3.8	▲ 1.9	▲ 0.7	▲ 0.2	0.2	▲ 1.6	▲ 0.4
寄与度	▲ 0.8	▲0.29	▲0.06	0.08	▲0.15	▲0.09	▲0.03	▲0.02	0.01	▲0.18	▲0.03

(参考) 主な要因となっている10大費目について、寄与の大きかった中分類項目

光熱・水道： ガス代 (前年同月比 2.3%, 寄与度 0.05) 等  
 食料： 野菜・海藻 (前年同月比 ▲8.4%, 寄与度 ▲0.22) 等

図2 10大費目別前年同月比寄与度



(2) 総合指数に対する寄与の大きかった中分類項目 (寄与度順)

上 昇		下 落	
費 目 (主な品目名)	前年同月比	費 目 (主な品目名)	前年同月比
自動車等関係費 (自動車保険料 [任意] 等)	1.3%	野菜・海藻(ねぎ 等)	▲8.4%
穀類 (うるち米 等)	2.8%	通信 (携帯電話機 等)	▲3.3%
ガス代 (都市ガス代 等)	2.3%	家庭用耐久財 (電気冷蔵庫 等)	▲7.0%
設備・修繕維持 (ルームエアコン取付け料 等)	0.9%	教養娯楽用耐久財 (カメラ 等)	▲6.0%
電気代(電気代 等)	0.6%	教養娯楽サービス (放送受信料 [NHK] 等)	▲1.6%